

活動状況のお知らせ

6月活動報告			7月活動報告		
2	月	消防点検	1	火	とこなめ市民交流センター等開所式
6	金	定例会(あかりデイ)			安全運転管理協議会班長会議(市)
9	月	調理担当会議(あかりデイ)・定例会(きらりデイ)			介護保険インターネット請求説明会(国保連)
10	火	食品衛生講習会	4	金	定例会(あかりデイ)
11	水	企画会議	6	日	常滑地区まちづくり講座(市)
12	木	担当者会議(訪問)	10	木	担当者会議(訪問)・企画会議
13	金	きらり自主避難訓練(地震)	11	金	地震避難訓練(あかりデイ)
		中学生職場体験事前打ち合わせ(あかりデイ)	14	月	加古社労士打ち合わせ
18	水	波の音こども園との会議	16	水	第1回感謝まつり実行委員会・検便(16～18日)
19	木	サービスラーニング日福大生3名訪問	17	木	定例会(傾聴)
		定例会(傾聴)	18	金	運営委員会
20	金	運営委員会	19	土	研修会(訪問介護ヘルパー・ドライバー)
23	月	きらり会議	22	火	サポートちた理事会(サポートちた)
25	水	デイ部会(市)	23	水	デイ部会(包括)・移動ネット総会
26	木	担当者会議(訪問)	24	木	担当者会議(訪問)
27	金	鬼崎中学校1年生職場体験(5名)	26	土	公共交通のあり方検討会議(市)
		市民協働推進委員会・自主防災班長研修(市)	28	月	インターンシップ来訪(サポートちた)
30	月	ケアラーの集い(傾聴)	29	火	南陵中3年生夏休みボランティア体験(あかりデイ)
			30	水	第2回感謝まつり実行委員会
			31	木	フードバンクプロジェクト意見交換会(サポートちた)



			6月	7月
たすけあい	在宅・子育て	活動時間	107	95
		利用者数	25	25
	移動	活動時間	161	157
		利用者数	38	41
	弁当	利用者数	200	243
介護保険	訪問介護	利用時間	583	609
		利用者数	87	79
	居宅介護支援	利用者数	84	80
	あかり	利用者延数	229	237
障害福祉等サービス	きらり	利用者延数	167	171
		利用時間	209	210
地域交流	おいで屋	参加人数	164	164
	きらり	参加人数	509	719
	傾聴ボラ	利用者数	56	53

会員数(8月28日現在)	
正会員	99名
賛助会員	118名+2団体
利用会員	76名
合計	293名+2団体

賛助会員(8月25日現在)

竹内 理江 山本 久子 花ざかり
神原佐代子 福嶋 美子 榊原 一芳
山本とし子 大岩かよ子
しろやま むらさき野苑

ありがとうございます。
みなさまの温かいご支援があかりを支えます。
これからもどうぞよろしく
お願いいたします。

発行
常滑市塩田町 2-135
特定非営利活動法人
あかり
TEL/35-4185
FAX/35-6862
http://akari-npo.jp/

2014年8月
75号



こどもも大人も土で遊びました

7月19日(土)、おいで屋において、夏休み恒例となりました《こども陶芸教室“ねんどであそぼ”》を開催しました。今年も大人気で定員をオーバーするほどでした。子どもたちに保護者も加わり賑やかに意見交換をしたり、夢中になって寡黙になってしまったり、出来上がった作品を、焼く前から楽しみにしたり。保護者も含めて50人余の参加者たちはいろいろと楽しげな話をしながら熱気にあふれた午前中は終わりました。たかはしさだこ先生、毎年ありがとうございます、出来上がりが楽しみです。



総会後のアトラクションで渡辺敬一郎氏に陶器の笛のコンサートをお願いしたことがご縁で、今回、私たちも自分の手で陶器の笛を作ってみようということになり《夏のきらり教室“土の笛を作ろう”》を開催しました。2日がかりの予定で挑戦したにもかかわらず、仕上がらずに、もう1日プラスすることになってしまいました。既に陶器の管が出来ているところから、まず吹き口を作ることから始めます。土に慣れていない私たちは管に吹き口をつけた後、何度も音試しをしました。そうしたら土は溶け出てまずいことになることも知らず。今回の参加者はすべて大人でしたが、大人になっても初めてのことをする楽しさを皆さん、味わっている様子でした。さて、出来上がった笛で演奏会など… 期待してもいいでしょうか。



きらり 9月10月 催し物ご案内

☆ティールームギャラリー 《水・土・日・祝日休み／9:30～16:00までオープン》

ファイブニードル作品展 9月1日(月)～26日(金)

《^{たけうちさとこ}竹内聡子・^{ふじいあきこ}藤井昭子・^{みづたにさちこ}水谷幸子・^{さいだ}斎田みつゑ・^{からさわしやうこ}唐沢紹子》

油絵三人展 9月29日(月)～10月31日(金)

《^{いわながたかし}岩永隆・^{むらかみこうぞう}村上幸三・^{もりたきよいち}森田喜代一》

○ケアラーの集い 日時 10月23日(木) 14:30～16:00

問い合わせ先；NPO法人あかり TEL；35-4185

ご寄附をありがとうございます

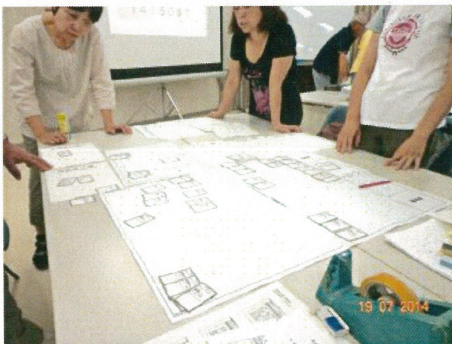
3名の方からいただきました。大切にに使わせていただきます。

ゲームの体験から何が見えた？

7月19日（土）常滑市民交流センターにおいて県防災局災害対策支援グループによる「避難所運営ゲーム（HUG）って何？～避難所を模擬体験してみましょう～」というゲーム形式の体験型研修を訪問介護ヘルパーと移送ドライバーが研修会として行った。



パワーポイントで説明を聞く



課題が提出され、検討をする



新しいカードで新たな問題の提示



班によっては出された課題の進み方も対応も其々

避難所運営ゲーム（HUG）とは・・・

Hinannzyo Unei Game

静岡県が開発したもので、避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図上で、どれだけ適切に対応できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム

実際に避難所が設置される場合、赤ちゃん・病人・車椅子の人・外国人など様々な被災者が集まってくる。そこにはあらゆる問題が起きてくることは予想される。つぎつぎにいろいろな問題に直面し、それとどう向き合って対応していくかが避難所運営では必要とされる。

そこでこのゲームは、仮想避難所に次々に届く、カードで示される課題を、臨機応変に対応するためにグループのメンバーで話し合い、適切に稼働するにはどうしたらいいかを考えながら運営していく方法をみんなで体験した。

参加者の声

- ◎何回やっても人が違えば違う問題が出てくる、正解はない、難しいことだと思った。
- ◎災害時にはのんびり考えてなどいられない、訓練、体験を繰り返しておくことが大事。
- ◎一度に100人もの避難者が…、一人一人の事情を聴いているうちに時間はどんどん過ぎていく。リーダーの力と地域住民の協力が欠かせないものだと感じた。
- ◎次から次へとやってくる人たちへ、何を優先させるか、どういうふうに分けるか、初めは全くわからなかった。隣近所の協力、助け合いが大切と感じた。
- ◎避難所運営は初めに方針を決めていくと、それに添って行動できる、というまとめに納得した。地域による団結・つながりが後の復興にもつながるとのこと、なるほどと思った。
- ◎避難者、場所等、条件が多様多様であり、どのようであっても互助の精神が大切だと思った。

各地で大きな災害の報道がされた。幸い今のところ、この地では格別の被害はないが、今回のHUG体験はもしもの時の役に立つはずだ。いろいろな声が会員からは上がったが「何が起こるか分からないからこそ、こうした模擬体験が大切だと思う」という声が一様にあった。

デイサービスの日常を紹介します

デイハウスあかり



みんなで手作りした張りばてスイカボールで、スイカ割りをしました。



そして、本物のスイカをいただきました。



この日は波の音こども園の園児たちの訪問がありました。可愛い歌を聞いたお年寄りたちの笑顔は本当に優しげです。



日本福祉大の学生さんがサービサーニング(学生自らの実習・企画)でデイサービスに来てくれました。「若い人と話をするのもいいねえ」って。

きらり



セントレアライフの職員さんがピエロの扮装で大道芸を見せてくれました。きらりとあかりの利用者さん、こども園の園児たちと先生たち、セントレアライフの利用者さん、みんな合わせて74名の人たちで、大賑わいの大笑いでした。



ボランティアさんと一緒になって卓を4台も使い、第3回麻雀大会を開催しました。この後、優勝・ユニーク賞等、各賞取り混ぜ賞状・賞品の授与式も行われました。



あかりデイではおなじみですが、きらりでは初めての試みの梅干づくりに挑戦。色付けに欠かせない紫蘇をみんなでつましました。



サービサーニングの学生さんと一緒に、和紙を好きな色で染めて自分用のうちわをつくりました。個性的なうちわが出来上がりました。

今年も感謝まついを開催、乞うご期待

11月16日に第6回感謝まつりを街かどサロンきらりで、今年も行います。振る舞いはカレーを予定しています。そのほか、ゲームやバザーは検討、進行中!!